様式第１号（第４条関係）

　　年　　月　　日

大津市景観アドバイス制度利用申請書

（第１葉）

氏　　名

依頼者 　住　　所

電話番号

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 行為地 | 大津市 | | | |
| 行為の種別 | □　建築物の新築　　□　建築物の増築　　□　建築物の色彩の変更  □　工作物・構造物の新設  □　外観を変更することとなる修繕又は模様替え | | | |
| 建築物等の 概要 | 主要用途・種類 |  | 敷地面積 |  |
|  | 計画部分 | 計画以外の部分 | 合　計 |
| 建築（築造）面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 延べ面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 最高の高さ | ｍ | 構　造 |  |
| 特に相談 したい事項 |  | | | |

※　該当する行為の種別にチェックマークをつけてください。

※　大津市記入欄

|  |  |
| --- | --- |
| 相談日時 | 年　　月　　　日（　　　　時　　　分から　　　時　　分まで） |

景観配慮チェックリスト

（第２葉）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 大津市景観計画の基本方針の確認 | | | |
| □　水と緑の大景観を守る。  □　古都大津の歴史的景観を守り、育てる。  □　自然と人々の営みが創り出してきた美しい景観を守り、育てる。  □　大津の顔となる景観を創る。  □　個性ある地域景観を創り、育てる。 | | | |
| 景観要素のチェック | | | |
| □　山地景観地域  □　古都緑地景観地域  □　丘陵地景観地域  □　田園集落景観地域  □　古都景観地域  □　都心景観地域  □　市街地景観地域  （地区名　　　　　　　） | □　緑地景観区  □　低層住宅地景観区  □　中高層住宅地景観区  □　一般市街地景観区  □　沿道市街地景観区  □　近隣商業地景観区  □　準工業地景観区  □　工業地景観区 | □　湖岸軸  □　河川軸  □　都心景観路  □　眺望景観保全地域  （地域名　　　　　　　） | □　市街地水辺景観区  □　集落水辺景観区  □　砂浜樹林景観区  □　山岳水辺景観区  □　ヨシ原樹林景観区  □　河畔林景観区  □　水辺景観特別地区 |
| 周辺の景観の特徴・状況 | | 特徴に対する計画・設計への反映 | |
| （例：寺院多い地域である、琵琶湖岸から見通せる地域である、新しく開発された住宅街であるなど） | |  | |
| 敷地や建築物等の見え方 | | | |
| 計画されている敷地・建築物等は、周辺からどのように見えますか？  １　遠景　高い位置（重要眺望点、背景となる山並み又は高架道路）から（眺められる・眺められない）  ２　中景  ⑴　敷地が面する通りに沿って見た場合、又は湖岸から見たときに、周辺の景観を構成する要素はどのようなものですか。（例：塀や柵の連続性、植栽の連続性、壁面線の連続性、屋根の向き、高さなど）  ｛　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　｝  　⑵　敷地が面する通り・湖岸の特徴はどのようなものですか。（例：交差点が近く周囲からよく見えるなど）  ｛　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　｝  ３　近景  ⑴　敷地に寄って見たとき、敷地と道路の高低差が（ある・ない）  　⑵　敷地近くで建築物等を見た場合、何が目につきやすいですか。（例：外壁、門扉、アプローチなど）  ｛　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　｝ | | | |